

何でもひとづつ

十一月にならうと 年の終りに近いせい

かぜりしる

おた喜ぶ所 注意してのを確認す

通知をきいて支拂をす

除濕器から 加湿器にする

中を見よと かりくはなして

去年のものは安いものにする

デンキヤに注文

すくデンキヤが来る

エアコン 二三日をえかす かくとサイン

本出でに 加湿器を壊して来た

見てもう予定にして

加湿器をもつて来てくれの

とがかわりい

歯科のついでに 変更 ころ

担当者がき

そろく 一年にの 4月

のりき ている

ひばく けいせいと きたす

何かう見ると 何でもないことだが

私には ひとりの大平を破びやう

いつても さざ波とけい不存い

とにかうお柔のニとのスカーと思ひ

私の習慣 ちがふ言詞をやけと外を見

六好に存のうた 日や出がすだうしくうい

それとともり存のわ

冷えたお茶をのむ

とにかく天気よくあつて いかなくとほと

覚悟をもうたにする

何木匠のまのには どのも隣肉がけやうき

天のうしで 部屋を掃除くうい

歩行機とつかすうての仕事 はおとらう

そうだ ひとりのうた

考えてみたう ちのまことけい

たのみの変更たうん

20 22
19/2